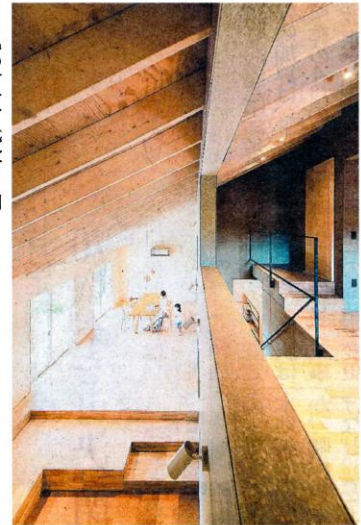


# 推進賞 住宅など4件

県は19日、県内の優れた建造物を顕彰する第23回くまもとアートポリス推進賞に、錦ヶ丘の家(熊本市)、合志マンガミュージアム(合志市)、川尻の町家(熊本市)、MU-HOUSE(熊本市)の計4件を選んだと発表された。

錦ヶ丘の家(設計・遊建築設計事務所、施工・連空間デザイン研究所)は、木造平屋の個人住宅。「左官仕上げや造作の隅々まで工夫に満ちた丁寧さがある」などと評価された。

合志マンガミュージアム(建築主・合志市、設計・崇城大西郷正浩研究室、谷良二建築設計事務所、施工・上林工業)は、鉄筋コンクリート造り1階の文化施設。「漫画を読む「縁側」が作りあげられ、子どもが安心して居場所となっている」などと評価された。



MU-HOUSE

川尻の町家(設計・柳瀬眞澄建築設計工房、施工・筑羽工務店)は、木造3階の事務所併用住宅。「中心部に設けた中庭が採光・通風を確保し、外の気配を感じる重要な役目を果たしている」などと評価された。

MU-HOUSE(設計・長野聖二建築設計、施工・ウエダホーム)は、木造2階の個人住宅。「住み手の空間へのこだわりが伝わってくる家」などと評価された。

同賞は約5年以内に完成した県内の建造物を対象に毎年公募。今回は37点の応募があり、北野隆・熊本大名菅教授ら7人が審査、次席の推進賞選賞3件も選んだ。

(中原功一朗)

選賞は次の通り(カッコ内は所在地と設計者)。尚綱大短期大学付属子ども園(菊陽町、FU設計)、園田教材社(合志市、遊建築設計事務所)、町営住宅倉原団地(小国町セル、アーキテクト)



錦ヶ丘の家(写真はいずれも県提供)



川尻の町家(中央)



合志マンガミュージアム